穴吹不動産流通㈱広島店の市況レポート　―――2022 年 5 月―――

西日本の直近の中古マンション価格推移について

調査方法：西日本のファミリータイプ中古マンション流通事例価格を集計
（約９坪以下の住戸と、居住用以外は除く）

2022 年 4 月度の中古価格は、近畿圏では価格の変動が少なくなった。
一方で、九州と四国は上昇傾向が継続している。

◆西日本におけるの県別中古マンション成約物件の傾向

	2022 年４月度 平均	価格 先月比	成約築年数 平均
近畿圏全体	約２，７７０万円	０．４％	築２８年
大阪府	約２，９９０万円	▲０．３％	築２８年
岡山県	約２，２６０万円	▲０．３％	築２１年
島根県	約１，８５０万円	０．４％	築１８年
鳥取県	約１，６８０万円	▲２．４％	築１８年
広島県	約２，２８９万円	１．０％	築２６年
山口県	約１，３００万円	▲２．４％	築２５年
愛媛県	約１，５３０万円	▲１．０％	築２６年
香川県	約１，３６０万円	２．６％	築２５年
高知県	約２，０１０万円	▲１．２％	築１８年
徳島県	約１，３００万円	▲０．２％	築２６年
福岡県	約２，１７０万円	▲０．５％	築２８年
大分県	約１，７３０万円	▲１．３％	築２５年
佐賀県	約１，５００万円	６．４％	築２３年
長崎県	約２，０７０万円	１．３％	築２３年
熊本県	約１，８５０万円	１．７％	築２４年
宮崎県	約１，８１０万円	１．９％	築２３年
鹿児島県	約２，２８０万円	０．９％	築２１年
沖縄県	約３，４４０万円	０．４％	築１７年

一概に人口の多い府県が上昇気味、という単純なものではなく、府県によりそれぞれ特徴がみられます。佐賀県などは佐賀市・鳥栖市など特定の都市の成約単価が著しく上昇しており、県全体を大きく押し上げています。福岡県は、中核都市：福岡市の上昇幅が少なく、それ以外の都市で全体的に下落があったため、県全体としてマイナスになっています。

広島県は、全体的に下落している都市が多いが、広島市の広島駅周辺が大幅な上昇がみられるため、若干のプラスがみられました。

穴吹不動産流通㈱広島店では、中古マンションの販売に注力しています。広島市内近郊は、まだまだ好条件で成約する傾向がみられます。ご売却をお考えの方は、ぜひ穴吹不動産流通㈱広島店までお問い合わせください。